

農業農村支援センター

1 管内農業の概要

- ・上田地域は、耕地が標高420mから1,300mに立地し、年間降水量が890mm程度と晴天日が多い気象条件を活かし、水稻や畜産の他、果樹や野菜、花きなど多様な品目が生産されている。
- ・農業産出額は令和3年度198億円。上田市菅平地域の高原野菜、東御市や上田市塩田地区を中心とした生食用ぶどうは品質が高く実需者からの評価も高い。
- ・総農家数は8,432戸。このうち自給的農家の割合が64.8%と県全体の平均値より約10ポイント高く、農業就業人口のうち65歳以上の占める割合は69.1%で県全体の平均値より約4ポイント高い。
- ・農家戸数の減少や高齢化が進む中、条件の良い水田地帯等では農地中間管理事業の活用等により、担い手への農地集積が進められている。

(1) 農家戸数及び農業就業人口（2020 農林業センサス）

市町村	農 家 戸 数				農 業 就 業 人 口		
	総農家数 (戸)	販売農家 (戸)	自給的 農家(戸)	自給的農 家率(%)	総人口 (人)	65才 未満(人)	65才 以上(人)
上田市	5,244	1,690	3,554	67.8	2,468	784	1,684
東御市	2,093	1,012	1,081	51.6	1,432	492	940
長和町	624	141	483	77.4	207	84	123
青木村	471	128	343	72.8	150	42	108
地区計	8,432	2,971	5,461	64.8	4,257	1,402	2,940
構成比	100	35.2	64.8	—	100	32.9	69.1
県計	89,786	40,510	49,276	54.9	67,790	23,535	44,255
構成比	100	45.1	54.9	—	100	34.7	65.3

(注) 自給的農家：経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が年間50万円未満の農家
 農業就業人口：農業に60日以上従事した15才以上の世帯員、役員・構成員（経営主含む）の数

(2) 農産物産出額（R3年産）

作物名	作付面積	生産量	産出額	構成比		県産出額	管内の占める割合
				構成比	前年比		
	ha	t,千本	億円	%	%	億円	%
米	2,698	15,310	30	15.1	82	371	8.0
麦類	362	895	0.3	0.2	60	3	10.0
豆・穀類	647	508	1	0.5	125	12	8.3
果樹	647	5,181	53	26.7	166	870	6.1
野菜	1,374	23,077	42	21.2	135	889	4.7
花き	55	12,164	17	8.6	148	156	10.9
きのこ類	—	7,744	32	16.1	86	502	6.4
畜産	7,277頭 98千羽	7,680	21	10.6	100	262	8.0
その他	—	—	2	1.0	100	59	3.4
計	—	—	198	100.0	87	3,126	6.3

(県農産物産出額より)

(注) 端数処理の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(3) 認定農業者等への農地の集積状況 (令和5年3月末現在) (ha、%)

市町村	耕地面積	中核的 経営体	認定農業者等への利用集積状況			集積率	
			認定農業者	集落営農組織他	合計	基本構想 目標	実績
上田市	5,200	318	1,320.8	488.4	1,809.2	60	34.8
東御市	2,360	160	599.5	127.7	727.2	50	30.8
長和町	883	33	114.8	58.6	173.4	45	19.6
青木村	428	27	38.1	126.1	164.2	50	38.4

(長野県・長野県農業再生協議会「農業構造政策推進資料」より抜粋)

(注)集落営農組織他には、基本構想水準到達者、認定新規就農者を含む。端数処理の関係で計と内訳が一致しない場あり。

2 事業概要

(1) 長野県食と農業農村振興計画 上田地域計画の達成指標

<第4期計画(令和5年(2023年)~令和9年(2027年))>

■達成指標 上小テーマ「人・食・地域 つながり輝く上小農業」

重点 取組	達成指標	現状 R3(2021)年	R5(2023)年		目標 R9(2027)年
			計画	実績	
1	新規就農者数(49歳以下)	7人/年	11人/年	10人/年	11人/年
	中核的経営体数	529経営体	547経営体	538経営体	620経営体
2	多目的ネット等の利用面積	59ha	67ha	60ha	100ha
	醸造用ぶどうの収穫量	281t	513t	309t	1,200t
	持続性の高い生産方式導入面積	428ha	452ha	413ha	500ha
3	県オリジナル品種等の普及面積	293ha	602ha	647ha	624ha
	米・ぶどうの輸出货量	245t	260t	316t	300t
4	都市農村交流人口	6,576人	12,060人	5月調査	34,000人
5	防災重点農業用ため池の防災対策工事の着手箇所数	21か所	22か所	22か所	29か所
6	学校給食の県産食材利用割合	46%	46.7%	5月調査	48%
	常設農産物直売所の売上額	20億円	21億円	5月調査	25億円

(上田農業農村支援センター)

(2) 産業としての農業の振興

ア 多様な人材が活躍できる地域と一体となった担い手の確保育成

- 市町村、JA信州うえだ、農業委員会、上田農業農村支援センター等で上田地域就農促進連絡会議を組織し、就農相談会の開催や次代の担い手となる新規就農者の確保に取り組んでいる。
- 新規就農者の育成にあたっては、「長野県新規就農里親支援制度」のほか、(有)JA信州うえだファームが実施する研修制度とも就農希望者の情報について十分な連携を図り、就農前の基礎的な栽培技術や各種支援制度の活用方法を習得させ、個々人の適性に合わせた助言・指導を行っている。
- 市町村等と連携し、農業経営を始めてから経営が安定するまでの一定期間、「農業次世代人材投資事業」により、研修者の就農準備、就農者の早期経営確立に向けた支援を行っている。

○新規就農者の状況(45歳未満)

年 度	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
新規就農者数(人)	20	18	16	12	7	6	10

○長野県新規就農里親制度（里親研修）の修了実績 (人)

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
管 内	2	2	4	5
長野県	28	31	24	30

(注) 研修対象は49歳以下の者。

【参考】

(有)JA信州うえだファーム研修実績 (人)

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
研修修了者数	8	4	12	10

○農業次世代人材投資事業（準備型と開始型）、新規就農者育成総合対策（就農準備資金と経営開始資金）の実施状況 (人)

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
準備型	1	1	1	11
経営開始型	45	47	35	35

(注) 準備型・就農準備資金：新規就農に向けて県農業大学校などでの2年間の研修を要する。
年間最大150万円を最長2年間受け取れる（研修中の資金補助）。

経営開始型・経営開始資金：市町村が窓口となり、就農直後の経営確立を支援するもの。
年間最大150万円、最長3年間受け取れる（就農後概ね3年間の資金補助）。

イ 競争力の高い水田農業と園芸産地の振興

- ・需要に見合った主食用米の適正生産に向けて多品目や新規需要米の取組を推進するとともに、収益性の高い園芸品目、県オリジナル品種等の販売力の高い品種への転換や導入を図っている。
- ・上田地域の基幹産業とし期待されるワインについては、ワイン用ぶどう栽培に必要な資材や機器の導入を支援している。

○水田への麦・大豆・そば、新規需要米の作付動向

区 分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	前年対比
	ha	ha	ha	ha	ha	%
麦	299.9	301.1	288.5	355.6	310.9	87.3
大豆	257.3	72.9	58.1	298.0	258.0	86.6
そば	198.1	141.8	141.4	174.8	158.0	90.3
*新規需要米	58.4	59.8	89.7	104.1	94.5	90.8

(上田農業農村支援センター調べ)

(注) 大豆、そばについては二毛作を含む作付面積。

本データは、市町村から提出された「水田収益力強化ビジョン」により作成。

※新規需要米と、「米粉用米、飼料用米、WCS用稲、輸出用米」を指す。

○販売力の高い県オリジナル品種等の普及状況

〈作物〉

区 分		栽培面積 (ha)				前年対比 (%)
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
米	風さやか	124	141	142	139	98
酒米	山恵錦	1	5	4	4	100
大麦	初作ファバー	10	10	15	15	100
小麦	ゆめかおり	20	20	13	13	100
	しろゆたか	—	—	10	334	3340
そば	タチアカネ	71	70	70	70	100

(上田農業農村支援センター調べ)

〈果樹〉

区 分		令和3年		令和4年		令和5年		前年対比	
		栽培面積	生産量	栽培面積	生産量	栽培面積	生産量	栽培面積	生産量
		ha	t	ha	t	ha	t	%	%
りんご	シナリップ	2.5	23.9	4.0	69	4.0	52	100	75
	秋映	18	166	16	252	16	249	100	99
	シナスイート	15	95	14	265	14	243	100	92
	シナゴールド	7	106	6.2	125	6.2	102	100	82
ぶどう	ナガノパール	20	238	21	215	31	266	148	124
	シャインマスカット	65	840	84	964	93	1,032	111	107
	クイーンルージュ®	8	5	12	13	16	19	133	146
	ワイン用品種	120	281	125	307	129	310	103	101

(上田農業農村支援センター調べ)

〈畜産〉

区 分		飼育羽数 (羽)				前年対比 (%)
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
鶏	しなの鶏	1,927	2,536	2,424	1,743	72
	信州黄金シャモ	9,816	10,368	11,623	10,706	92
	長交鶏3号	—	—	—	446	—

(園芸畜産課調べ)

○ワイン用ぶどうの栽培面積

平成27年に千曲川ワインバレー（東地区）特区を取得後、県単事業等を活用して新植、面積拡大が図られている。

区 分		H30	R元	R2	R3	R4	R5	前年度対比 (%)
面積 (ha)	管内	85	95	108	120	125	129	103
	長野県	301	344	330	385	430	451	105
占有割合 (%)		28.2	26.7	32.7	31.2	29.1	28.6	—

(上田地域振興局調べ)

○産地生産基盤パワーアップ事業等の活用による産地力強化への支援（令和元年度～5年度）

【産地生産基盤パワーアップ事業】

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体	作物名	面積 (ha)	事業内容等	事業費 (千円)	国費 (千円)
元	東御市 (柗津御堂)	2件	醸造用ぶどう	6.0	果樹棚の整備	12,977	5,898
2	東御市 (柗津御堂)	8件	醸造用ぶどう	13.2	・果樹棚の整備（生産資材の導入（トリス）） ・農業用機械リース導入 （草刈り機7台、スピードスプレー5台）	56,390	25,627
3	東御市 (柗津御堂)	4件	醸造用ぶどう	2.9	・果樹棚の整備（生産資材の導入（トリス）） ・農業用機械リース導入 （スピードスプレー、トラクター、モア、摘芯機、マルチワン、トリマー）	22,768	10,347
3	東御市 (八重原)	1件	もち性大麦	—	・農業機械のリース導入 （トラクター1台）	10,890	4,950
4	東御市 (滋野、和)	1件	生食用ぶどう	—	・ぶどう用冷蔵庫の導入 6基	14,850	6,750

(上田地域振興局調べ)

【強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業】

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体	作物名	面積 (ha)	事業内容等	事業費 (千円)	国費 (千円)
3	上田市 (殿城)	1件	きゅうり	1240 m ²	・パイプビニールハウス一式 1240 m ²	16,628	3,000
3	東御市 (八重原)	1件	水稻 大豆	各1台	・コンバイン、乾燥機、計量機、色彩選別機、もみ殻中継ファン、大豆選別機	22,402	6,109

(上田地域振興局調べ)

【農地利用効率化等支援交付金事業】

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体	作物名	面積・ 台数	事業内容等	事業費 (千円)	国費 (千円)
4	上田市 (上田東)	1件	ぶどう	3,300 m ² 一式	・トンネルメッシュ（雨除け施設）	4,145	1,044
4	東御市 (北御牧)	1件	水稻	1台	・田植機（スマート農機）	4,565	1,245
5	上田市 (上田東)	1件	水稻	各1台	・田植機、コンバイン	14,125	3,000
5	東御市 (柗津)	1件	果樹	1台	・スピードスプレー	5,760	1,728
5	東御市 (和)	2件	果樹 肉牛	各1台	・スピードスプレー、乗用モア、ディスクモア	8,379	2,285

(上田地域振興局調べ)

【経営発展支援事業】

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体	作物名	台数	事業内容等	事業費 (千円)	国費 (千円)
4	上田市 (真田)	1件	野菜	1台	・トラクター	5,056	2,500
4	東御市 (北御牧)	1件	野菜	各1台	・トラクター、モア、管理機	5,272	2,634
5	上田市 (丸子)	1件	野菜	各1台	・トラクター、移植機、ドローン	5,675	2,836
5	上田市 (丸子)	1件	果樹	各1台	・スピードスプレーヤー、乗用モア	7,380	3,690
5	上田市 (丸子)	1件	果樹	各1台	・スピードスプレーヤー、ビニールハウス	2,200	1,100
5	上田市 (武石)	1件	水稻	1台	・光選別機	3,258	1,629
5	上田市 (塩田)	1件	果樹	各1	・ラジコン型動力噴霧器、ワイン用ブドウ栽培施設	3,191	1,575
5	上田市 (塩田)	1件	果樹	1式	・ワイン用ブドウ苗	1,152	530
5	東御市 (和)	1件	果樹	1台	・スピードスプレーヤー	3,710	1,854
5	東御市 (新張)	1件	野菜	1件	・パイプハウス	3,450	1,725
5	東御市 (滋野)	1件	果樹	各1	・運搬車、トンネルメッシュ	3,659	1,829
5	東御市 (和)	1件	果樹	各1	・スピードスプレーヤー、乗用モア、ブドウ棚	3,654	1,825
5	青木村 (村松)	1件	野菜	各1	・ミニトマト自動灌水施設、自走式ラジコン動噴	2,303	1,151

(上田地域振興局調べ)

【信州農業生産力強化対策事業】

実施年度	市町村名 (地区名)	事業実施主体名	作物名	面積 (a)	事業内容等	事業費 (千円)	県費 (千円)
3	上田市 東御市	(有)信州うえだ ファーム	りんご、ぶどう、なし	141.8	一時的な樹園地の維持管理	3,170	1,409
3	東御市	(有)信州うえだ ファーム	ぶどう	47.9	樹園地の整備に要する経費	5,491	2,495

実施年度	市町村名(地区名)	事業実施主体名	作物名	面積(a)	事業内容等	事業費(千円)	県費(千円)
3	上田市	J A信州うえだアスパラ部会	アスパラガス	16	雨よけハウス 28棟	6,144	2,500
3	上田市	J A信州うえだ武石野菜部会	アスパラガス	58	かん水施設 3か所	2,790	1,268
4	上田市東御市	(有)信州うえだファーム	りんご、ぶどう、くるみ	131.7	一時的な樹園地の維持管理	4,775	2,051
4	上田市	J A信州うえだアスパラ部会	アスパラガス	16	雨よけハウス 18棟	10,307	2,500
4	上田市	J A信州うえだ武石野菜部会	アスパラガス	16	かん水施設 3か所	1,833	833
5	上田市東御市	(有)信州うえだファーム	りんご、ぶどう	158.4	一時的な樹園地の維持管理	3,388	1,501

○ワイン産地づくりへの栽培技術支援

ワイン産地の基盤強化を図るため、生産者の栽培技術向上に向けたセミナーを前年度に引き続き、実施した。

■ワイン用ぶどう生産者技術セミナー

日 時	令和6年1月19日(金) 13:30~16:30
場 所	上田合同庁舎講堂
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県担当者から、ぶどうの生態、熟度調査、病虫害対策について説明。 ・ 事例発表：マンズワイン小諸ワイナリー 栽培管理者 邑田明氏 有機栽培に取り組み始めた中で得た、防除等実践事例を紹介。有機栽培は、収量が低く手間がかかることを発表いただいた。 ・ 講演：信州大学特任教授 フランス国家認定醸造士 榎本登喜男氏 演題「有機農業によるオーガニックワイン造りの動向」 生物の多様性や生態系などを意識するフランスや欧州の有機農業について紹介。ビオの要点、防除(バイオコントロール)の考え方、総合型防除などについて具体的に研修。 ・ 参加者：生産者17名、講師・行政関係者・報道15名：計32名

(3) 消費者が求める食への対応

ア 食の地消地産と農産物直売所の機能強化

- ・ 農産物直売所の取扱量拡大や品質向上、新規出荷者の育成に向けた指導会を実施している。
- ・ 各常設農産物直売所が、運営上の課題を共有して解決策を話し合う「魅力アップセミナー」の開催や、課題解決に向けた専門コーディネーターの派遣を行っている。

○常設農産物直売所の売上高と来客者数

年 度	H30	R 元	R 2	R 3	R 4	前年度対比
店 舗 数	16	17	16	15	15	100%
売上高 (万円)	207, 208	178, 243	185, 486	196, 674	176, 876	90%
来客数 (千人)	2, 446	2, 316	2, 341	—	2, 126	—

(上田地域振興局調)

(注) 店舗数のR元年度からR2年度にかけての1減は、主力の販売品目を大型直売所店への移行による。

R2年度からR3年度にかけての1減は、経営不振による閉鎖によるもの。

R3の来客数についての調査は無し。

○魅力アップセミナー開催、魅力アップ支援

■農産物直売所魅力アップセミナー

日 時	令和6年2月8日(木) 午後1時30分から午後4時まで
場 所	上田合同庁舎講堂
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・講義・グループワーク 「多様化するお客様のニーズにこたえる接客」 キャリアコンサルタント 井出 洋子 氏 参加者：直売所関係者 25名、JA及び行政 13名 計 39名

■魅力アップ支援の活動内容

	活動内容	詳 細
①	専門コーディネーター派遣による経営支援	長野県よろず支援拠点のコーディネーターと連携。要望のあった直売所1件に対しサポート支援。
②	魅力アップセミナー開催	研修により、直売所の接客サービスの向上と労働環境の改善に係るスタッフの資質向上
③	端境期の栽培試験	冬場の端境期における品不足の課題に対し、5月の連休前に収穫できるキャベツ等の試験栽培を実施。
	端境期の対策 野菜保存技術の情報収集	野菜をほ場又は冷蔵庫で冬場保存しておき、3月～4月の端境期に出荷できるよう保存技術について収集。

(4) 暮らしの場としての農村の維持

- ・ニホンジカ、いのしし等の鳥獣害による農作物被害を防止するため、市町村対策協議会が取り組む侵入防止策の設置を支援している。
- ・平成12年度から実施している「中山間地等直接支払制度」は、第5期(R2～R6)対策に入っている。農業生産条件の不利な中山間地域において、集落等を単位に農用地を維持・管理していくための取り決めを締結し、それに従って水路や農道の管理など農業生産活動を行う場合に、面積に応じて一定額を交付し、農地や集落など農村の維持に役立てている。

○鳥獣被害防止対策交付金実績

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体名	面積 (ha)	事業内容等	事業費 (千円)	
						うち国費
2	東御市 (祢津御堂)	東御市有害鳥獣対策協議会	21.9	侵入防止柵 2, 113m	4, 543	4, 543
3	東御市 (祢津御堂)	東御市有害鳥獣対策協議会	6.1	侵入防止柵 670m ネット網 47m	1, 920	1, 920
5	長和町 (大門)	長和町有害鳥獣駆除対策協議会	23.0	侵入防止柵 5, 000m	10, 457	10, 000

(上田地域振興局調べ)

○中山間地域農業直接支払交付金 (令和5年度)

市町村	集落協定 件	協定参加者 人	協定面積 ha	交付金 (国・県分) 千円
上田市	25	565	172.4	23, 355
東御市	24	1, 355	495.6	76, 011
長和町	12	216	120.6	17, 831
青木村	21	329	77.8	9, 664
計	82	2, 465	866.5	126, 861

(注) 端数処理の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(上田地域振興局調べ)

(5) 長野県価格高騰緊急対策等について

依然続いている世界的な原油価格及び物価高騰等の影響を受け、管内の農業者の経営環境も非常に厳しい状況におかれている。併せて、中長期的な視点からエネルギーコストの削減など未来につながる取組なども進められている。このような状況を支援するため、国・県では継続的に経営支援を継続。

【令和5年度実績】

(令和6年5月末現在)

事業名	市町村	事業実施主体	品目	内容
【国事業】				
施設園芸セーフティ ーネット構築事業	東御市	(株)ハルディン	花き苗	燃料購入費への補填
	東御市	ベルグアース(株)	野菜苗	燃料購入費への補填
【国+県事業】				
配合飼料価格高騰緊急対策事業	管内 全域	管内配合飼料購入 農家	畜産	国の配合飼料価格安定制度への 上乗せ補填
肥料高騰対策事業	管内 全域	J A信州うえだ J A佐久浅間 肥料販売業者	肥料	価格肥料の低減に取り組む販売 農業者への国の肥料価格高騰対 策の上乗せ助成
【県事業】				
農業エネルギーコスト 削減促進事業	上田市	JA信州うえだ	営農	LED照明機器 ← 4年度繰越
養魚用配合飼料価格 高騰緊急対策事業(2 回目)	上田市	(合資)臼田養魚場	養殖	飼料価格の価格高騰分の補填 ← 4年度繰越
きのこ培地資材価格 高騰緊急対策事業	管内 全域	JA信州うえだ 農家8戸	菌茸	培地資材費の価格高騰分の補填

(上田地域振興局調べ)

(6) 地域計画策定に向けた管内の取組状況

「地域計画」は、これまで地域農業の将来の在り方を示した「人・農地プラン」が、令和5年5月の農業経営基盤強化促進法の一部改正に伴い法定化された計画となる。地域農業の在り方を示す「人・農地プラン」に、「目標地図（10年後の1筆ごとの農地の耕作者を示した地図）」を添付、令和7年3月までの公告・縦覧を経て計画となるが、その策定に向けて、市町村の地区ごとに開催される話し合いの場に、現地支援チームが参加等支援を行っている。

◆管内の計画策定予定数

市町村	策定数	策 定 地 区 名
上田市	6	上田東、西部、塩田、丸子、真田（菅平含む）、武石
東御市	5	田中、滋野、祢津、和、北御牧
長和町	4	大門、長久保、古町、和田
青木村	1	青木村